

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 快適省エネ住宅「チャコの家」

グループの名称 山形ジョイコス工務店倶楽部

直近採択グループ番号 ---

(グループ代表者)

代表者名 鈴木 磨 代表者印

代表者所属先 有限会社鈴建

代表者所在地 山形県上山市南町1-9

代表者電話番号 023-672-7990

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社コバヤシ機工

事務局担当者名 小笠原 寛智 印

事務局郵便番号 990-0831

事務局所在地 山形県山形市西田五丁目26-76

事務局電話番号 023-644-1688

事務局FAX 023-644-1676

事務局担当者E-mail info@kobayashikou.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	快適省エネ住宅「チャコの家」
2. グループの名称(必須)	山形ジョイコス工務店倶楽部
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県内 等
5. 結成年(必須)	2017 年
6. グループ代表者名(必須)	鈴木 磨
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社鈴建
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県上山市南町1-9
9. グループ代表者電話番号(必須)	023-672-7990
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社コバヤシ機工
11. グループ事務局担当者名(必須)	小笠原 寛智
12. グループ事務局郵便番号(必須)	990-0831
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県山形市西田五丁目26-76
14. グループ事務局電話番号(必須)	023-644-1688
15. グループ事務局FAX番号(必須)	023-644-1676
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@kobayashikou.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	原木供給事業者に地域材のほか、海外も含まれ証明書等入手困難のため。
II. 製材・集成材製造・合板製造	16	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	9	
IV. プレカット	4	
V. 設計	5	
VI. 施工	32	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	県産やまがたの木	山形	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	事務局で施工メンバーより補助要望をまとめ、厳正に選り分けると。又、補助の残棟数を毎月、施工メンバーに報告する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適省エネ住宅「チャコの家」	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内 等
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 山形ジョイコス工務店倶楽部	(結成年) 2017 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	高気密、高断熱住宅、Q値1.6W/m ² K、UA値0.5W/m ² K、C値0.3cm/m ² の高性能で、夏暑く、冬寒い山形の気候で、1年中快適な住宅を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	各地域で定めた耐雪基準を充たす構造とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏季の日射と冬季の降雪を考慮し、山形県内各地域の気候風土に適したデザインの住宅とする。	○
④①～③の背景	山形県内は夏季は高温多湿、冬季の寒さ降雪また暴風雪の多い地域もあり、様々な環境の中で1年中快適に暮らす高性能住宅の供給を目指します。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ランニングコスト削減を目指し、断熱強化、気密測定全棟実施し、住宅性能を向上に取り組む。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 断熱パネルをグループで統一して使用する。	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準でH25年省エネ基準をクリアする建物。	◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局で予定物件情報を関連するメンバーへ提供し協力を求める。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局で予定物件情報を関連するメンバーへ提供し協力を求める。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容:	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 気密、断熱、換気に関する施工基準を作成する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 第三者機関による検査とグループとしてもチェックシートを活用し確認する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 施工メンバーを中心に、のぼり旗を事務所、現場に立てPRする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適省エネ住宅「チャコの家」	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内 等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山形ジョイコス工務店倶楽部	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は事務局に提出することとする。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例・研修会時に会長、事務局が適切かチェックをする。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスシートを活用し各施工業者が年1回の点検を実施する。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスシートでチェック箇所を補修を行い、写真に納める。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検、補修後にメンテナンスシート写真を事務局に提出し確認する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各メーカーに勉強会の協力を依頼し実施する。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例・研修会の中で維持管理委員会を設置し年2回開催する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産廃業時には、事務局が中心となり、お客様対応。事業継続に他のメンバー紹介、引継ぎを行う。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経験のある施工メンバーの現場で、技術研修会を実施する。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工メンバーよりヒアリングを行い、需給計画の策定を実施する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場での技術研修を重ね施工メンバーの技術力向上を目指す。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 12	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 12	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より講習会の情報提供をし、参加促進する。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例・研修会でメーカーよりの新技術の講習会を行う。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新技術を定例・研修会で検証し、より発展できるか検討する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適省エネ住宅「チャコの家」	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内 等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山形ジョイコス工務店倶楽部	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原木供給者</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">製材 集成材 合板製造</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">プレカット</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">建材流通</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">施工メンバー</div> </div>		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適省エネ住宅「チャコの家」	(地域型住宅供給対象地域) 山形県内 等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山形ジョイコス工務店倶楽部	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

快適省エネ住宅「チャコの家」の特徴と性能

○グループの特徴

- ①高気密・高断熱・ダクト式 24 時間換気の組み合わせで、夏涼しく、冬は暖か、きれいな空気をモットーに、施工メンバーが、快適省エネ住宅を建築しています。
- ②標準仕様で、H25 年省エネ基準、ゼロエネルギー住宅を実現する高性能住宅で、更に、断熱材、サッシのバージョンアップでより性能向上。
- ③全棟気密測定を実施し、グループ目標 C 値 $0.3 \text{ cm}^3/\text{m}^2$ を目指す。

性能

- 1. 気密性能、相当隙間面積 C 値 $0.3 \text{ cm}^3/\text{m}^2$
- 2. 断熱性能、外皮平均熱貫流率 UA 値 $0.5 \text{ W}/\text{m}^2 \text{ K}$ 以下
熱損失係数 Q 値 $1.6 \text{ W}/\text{m}^2 \text{ K}$
- 3. 換気ダクト式第 1 種及び第 3 種換気システムを採用
- 4. 天井にセルローズファイバー 300 mm 以上



- 地域材使用、太陽光パネル（積雪地の為）設計時に打ち合わせをし、より効率のよい、ランニングコストに優れた住宅作りに取り組む。